

尾長
会報**ともしび**

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 4998 世帯

令和2年度 尾長地区連合町内会
尾長地区社会福祉協議会 総会

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、書面表決によるものとなりました。書面の中で提案された3つの議案（①事業報告・決算報告②事業計画・今年度予算③役員改選）は、大多数の賛同を得て、無事に可決されました。

新任会長挨拶**尾長地区連合町内会 会長 原田 幹太**

この度、尾長地区連合町内会の会長を引き受けることになりました尾長町内会長の原田幹太（はらだみきた）でございます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、行事・会議等が

中止、延期になるなど混乱を極め、連合町内会、社会福祉協議会合同総会も書面審査をお願いするなど、これまで経験したことのない事態になっています。

こういった中での人事交代ですが、連合町内会は行事・会議も多く、関係団体との調整も大変だと聞いていますので不安ばかりが先に立ちます。

しかしながら、引き受けた以上、私なりにしっかりと現状を把握して、関係者の皆様との連携とご協力を得ながら、尾長地区の安心、安全が維持できるよう努力していきたくと思っています。

尾長地区は、白島学区の二葉の里から、尾長学区の曙町まで、19の町内会・自治会の会員がおり

、それぞれの町内会・自治会で悩みを持っておられるのではないかと考えています。このためには、19町内会・自治会が情報を共有しながら、現状を分析し、一致団結して、同じ方向に向かう努力をしていきたいと思っています。なお、社会福祉協議会も石田会長に交代になりましたので、連合町内会・社会福祉協議会がこれまで以上に連携・協力して、尾長地区の発展に努力していきたくと考えています。

尾長地区社会福祉協議会**会長 石田 三枝子**

今年度より尾長地区社会福祉協議会の会長をさせていただくことになりました石田三枝子と申します。10年もの長きにわたりご尽力いただいた尾長地区社協の森平会長の後任として引き

継がせていただく事になりました。連合町内会の山城会長、両会長の下で色々な経験をしながら勉強させていただきました。これまでの社協活動も現状にあった形にいろいろな検証し、工夫しながら取り組んできましたが、まだまだ課題も多く、身の引き締まる思いです。

社協は5年ごとの計画を立てながら、目標に近づけるよう皆で検討しながら活動しています。大切な活動の中でも「高齢者等見守りネットワーク」を始めて7年半となります。少しずつ前に進めてきましたが、町内会や病院、薬局、介護業者などからたくさんの協力員・協力業者の方たちが参加していただき、高齢者などを地域で見守る大きな輪が出来つつあります。特に活動を始めた時から二葉包括支援センターや民生委員さんの存在は大きく、今後も頼れる存在です。これからも地域の方たちと共に「誰かの役に立ちたい」活動を充実させたいと思います。

今回の新型コロナウイルス感染拡大で総会を始め多くの行事や会議など、この時期の活動が休止となりましたが、地域活動を見直す良い時間となりました。今後の尾長地区を連合町内会原田会長と協力しながら、安全安心、優しい住みやすい街になるよう皆で盛り上げていければと思っています。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

退任の挨拶

尾長地区連合町内会 会長

山城 政之

新型コロナウイルスによる影響での生活様式の変化の中、ようやく自粛要請も解除されましたが、まだまだ不安な日々が続いています。

この3月31日をもって、尾長地区連合町内会会長を退任いたしました。菅前会長の後を受け、定例会議メンバーの皆様のご支援・ご協力を賜り務めることができましたこと、心から感謝いたします。特に「エキキタおながフェスタ」は昨年より広島テレビ系列の(株)アトラクトワンと共同開催ができ、より一層地域のお祭りとして定着してまいりました。

また広島市より指定管理事業の認定を受け、歴史の散歩道緑地帯や公園等の清掃を始めました。地域の企業、団体、各町内会の皆様が毎回約100名程が参加され、顔を合わせれば、挨拶はもとより言葉を交わされることも増えてまいりました。町内会は向こう三軒両隣りが挨拶でき、お互い言葉が交わせるまちづくりが目標でした。

「エキキタまちづくり会議」「夏の夜 祈りと平和の夕べ」等々を開催するにあたりましては、無理難題をお願いしながらも運営できたことは、支えていただいた定例会議及び会員の皆様方のご理解ご協力の賜ものと深く感謝いたします。

今後は原田会長を中心に、より素晴らしい尾長地区連合町内会に発展されますことをお祈りし、お礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

尾長地区社会福祉協議会 会長

森平 茂章

平成22年に就任してから10年間にわたり、尾長地区社会福祉協議会会長を務めさせていただきましたが、この度、辞任させて頂くことといたしました。思うように行ったこと、行かなかったことなどいろいろありましたが、何とか頑張り、無事大過なく役務を終えることができました。これもひとえに、尾長地区の社協、連合町内会、諸団体

の皆様を始め、東区社協、東区役所など関係する多くの皆様からの、温かい御指導と御支援を戴いたお蔭と心から感謝しております。ありがとうございました。振り返りますと、大きく力を入れたこととして、次の2点が思い出されます。

- 1、「尾長地区高齢者等見守りネットワーク推進事業」が社協・民児協・二葉包括支援センターの三者一体による情報の保有、活動体制の構築により、高齢者の見守り活動が軌道に乗ってきたこと。
- 2、社協活動の拠点をあいあいプラザから、地区の中心に位置する尾長学区集会所(3F)に移転し、社協の専属拠点として設置できたこと。

これから、高齢化社会が進み、環境は大きく変わってくるかと思いますが、皆様の力を一つにあわせて、石田新会長と一体となって、尾長地区社協の一層の発展と、また魅力ある素晴らしい尾長地区のまちづくりに取り組んで戴きたいと願っております。本当に皆さん、いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

今こそ「祈りのワクチン」を!



5月22日より毎週金曜日の正午に1分間、「歴史の散歩道」にある7社寺から鐘と太鼓の音が鳴り響いています。これは、広島

市が、最前線で命を懸けてコロナ治療に当たっている医療従事者に向けて、感謝の気持ちを表す「フライデーオベーション」を参考に、明星院の八木住職が提案され、それに賛同した7社寺の方々による取り組みです。過剰な不安や恐れから生じた差別、偏見というウイルスの「心の感染」による絆の分断を防ぎ、在宅のまま人々の心を「祈りのワクチン」で繋ぎたいという熱い想いが込められています。

いろいろな所で鐘や太鼓の音を聴きながら拍手が起きました。これから毎週金曜日、自分に、友人に、子供たちに拍手を送りませんか?

一人一人が、感染予防に留意することで、一日も早く、日常が戻りますように、お祈りしたいと思います。